

令和6年度（2024.4.1 – 2025.3.31）決算報告

1 収入内訳

項目	R6予算(A)	R6決算額(B)	増減(B-A)	備考
繰越金	1,339,820	1,339,820	0	
会費	1,450,000	1,625,000	175,000	47名（大口納入1,000,000円、一括納入）
総会費	150,000	140,000	-10,000	14名
寄付	0	270,000	270,000	海外交流支援
雑収入	1,000	16,269	15,269	利子・利息、北日本支部残金返納
合計	2,940,820	3,391,089	450,269	

2 支出内訳

項目	R6予算(A)	R6決算額(B)	増減(B-A)	備考
運営費補助	200,000	174,490	-25,510	監督旅費（福島、名古屋、大阪）、和道会理事年会費
学生補助金	500,000	500,000	0	学生登録料補助、遠征費補助
手数料・送料	30,000	20,694	-9,306	送金・自動引落手数料、ホームページサーバー代
事務局費	30,000	0	-30,000	
事務局長費	30,000	0	-30,000	
総会費	150,000	162,950	12,950	
慶弔費	20,000	0	-20,000	
旅費	40,000	0	-40,000	
予備費	10,000	20,000	10,000	東北空手道大会広告費
次期繰越金	1,930,820	2,512,955	582,135	
合計	2,940,820	3,391,089	450,269	

北日本事務局残金	5,060 円
関東事務局残金	1,260 円
西日本事務局残金	3,540 円

令和6年度決算報告を監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。

令和7年6月1日

監事 佐々木 健彦

令和6年度東北大学空手道部決算報告

競技名：空手道部 代表委員氏名：細川三國

No.	摘要	金額	備考
1	和道会登録	17,500	
2	大会参加費	32,500	学生大会
3	新歓費	16,044	ポスターインデザイン費
4	宿泊費	82,800	七大戦
5	連盟登録費	79,000	東北学生空手道連盟
6	大会費	51,000	第22回東北学生空手道選手権大会
7	大会費	39,000	第23回東北大学空手道選手権大会並びに新人戦
8	大会費	16,000	7と同一の大会の費用、ミスにより分けて送金
9	新歓費(食事代)	297,000	4月~5月にかけての食事代+花見準備費
10	防具代	101,200	インステップガード(赤青5組ずつ)7,200×10+ 拳サポ(赤青2組ずつ)5,000×4
11	学連申請費	71,000	東北学生空手道連盟申請費用
12	東北大学ゼッケン費用	15,120	ライナースポーツ(縦20×横8cm)
	合計	818,164	

登録費・大会参加費	306,000	
備品購入費	132,364	
遠征補助費	82,800	

521,164

令和7年度（2025.4.1 – 2026.3.31）予算案

令和7年4月1日

1 収入内訳

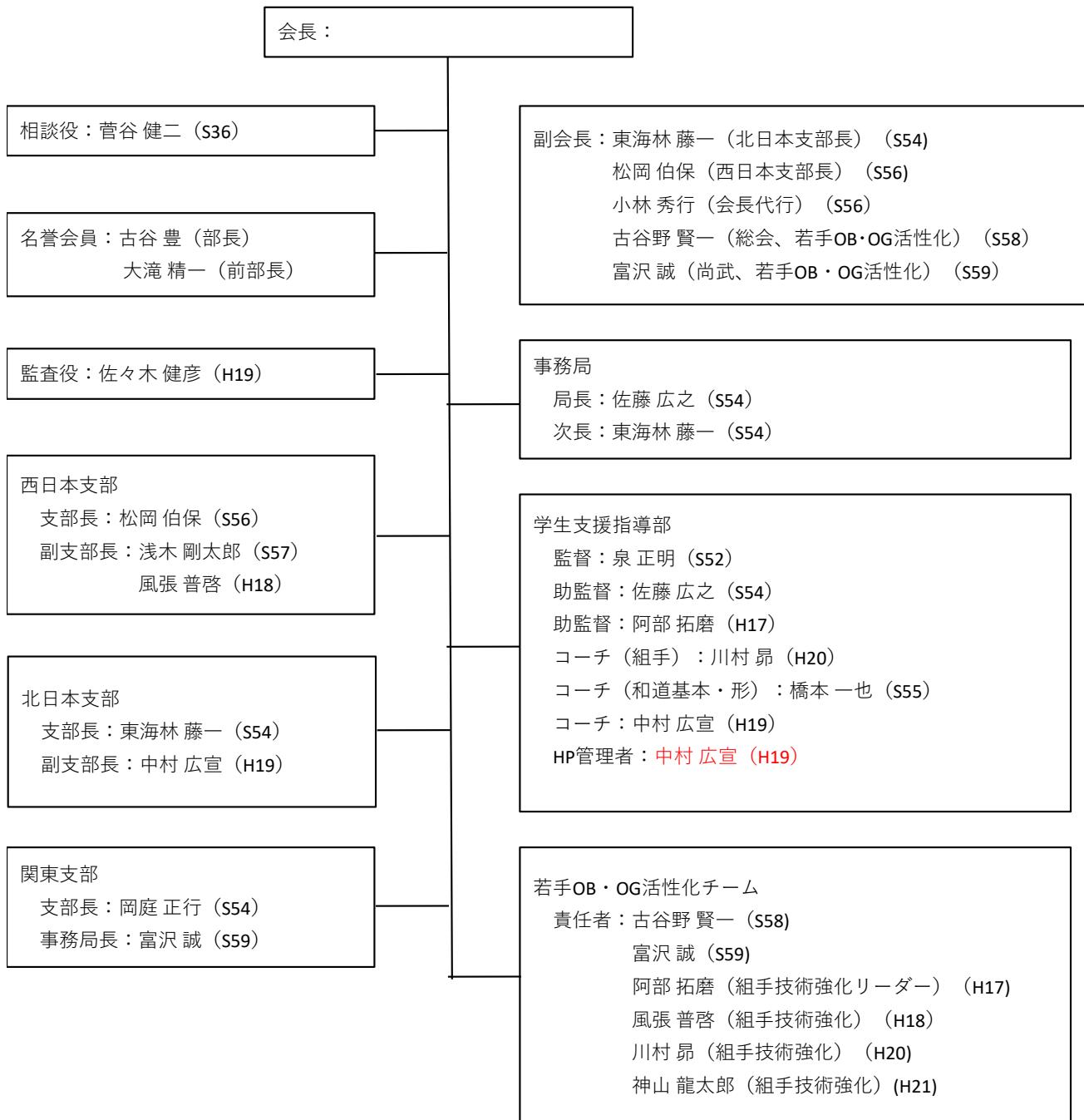
項目	R7予算(A)	R6決算額(B)	増減(B-A)	備考
繰越金	2,512,955	1,339,820	1,173,135	
会費	1,450,000	1,625,000	-175,000	大口会費納入（1,000,000円）
総会費	250,000	140,000	110,000	10,000円×25名分
寄付	0	270,000	-270,000	
雑収入	1,000	16,269	-15,269	利子・利息
合計	4,213,955	3,391,089	822,866	

2 支出内訳

項目	R7予算(A)	R6決算額(B)	増減(A-B)	備考
運営費補助	200,000	174,490	25,510	監督・コーチ旅費
学生補助金	800,000	500,000	300,000	遠征費、部員獲得費、登録料 (R6年度国際交流寄付金を含む)
手数料・送料	30,000	20,694	9,306	送金・自動引落手数料、ホームページサーバー代
事務局費	30,000	0	30,000	関東、北日本、西日本支部各 10,000円
事務局長費	30,000	0	30,000	出納補助等
総会費	250,000	162,950	87,050	10,000円×25名（会員25名、学生 0名）
慶弔費	20,000	0	20,000	
旅費	40,000	0	40,000	現役指導、追いコン
予備費	50,000	20,000	30,000	尚武70周年記念号
次期繰越金	2,763,955	2,512,955	251,000	
合計	4,213,955	3,391,089	822,866	

東北大学空手道部OB・OG会組織図（案）

令和7年4月1日



令和 6 年度	日付	内容
空手道部ニュース	4月30日	令和 6 年度予定
	5月3日	北日本支部報告
	6月11日	総会開催案内
	7月2日	東北総体結果報告
	7月20日	7大戦結果報告
	7月23日	総会議事録送付
	8月14日	アイルランド報告
	9月26日	東北大学空手道選手権大会並びに新人戦結果報告
	10月10日	尚武 70 周年記念号発行について
	11月24日	拡大同期会開催報告
	11月27日	国公立選手権大会結果報告・西日本支部総会開催報告
	12月11日	S45田口様からの投稿 1
	12月28日	アイルランド交流経過報告
	1月14日	S45田口様からの投稿 1
幹部会	4月29日	令和6年度予算について
	6月9日	令和 6 年度総会開催について
	9月21日	尚武発行について

『アイルランド交流(国際交流)の現状と今後の展開』

S51卒 宇野 健一郎

今年の9月23日～10月2日まで佐藤副監督・竹田前主将(大学院1年生)・宇野でアイルランドを訪問します。

宇野にとっては4回目のアイルランド訪問となります。1年目はアイルランドのナルティ空手師範と交流、2年目は岡庭さんとともに、ナルティ道場・オリバー道場・スミス道場を訪問、3年目は北アイルランドのクイーンズ大学ベルファスト校を訪問しました。

ナルティ師範(和道流)は病のため道場が閉鎖になったため、昨年は北アイルランドのクイーンズ大学ベルファスト校(和道流)を訪問しました。そのベルファスト校も連絡窓口の学生が卒業後は連絡が途絶えています。

今回は東北大学空手道部としての交流を目指し、流派にとらわれず、空手道部の活動が盛んな UCD(松濤館流アイルランド国立大学ダブリン校)と交渉を重ね、9月26日に訪問・合同練習をする予定です。UCD には下記の『国際空手ミィーティング』への参加も呼びかけています。尚、UCD はアイルランド国内では学術面でも優秀な学生が集まる大学であるとの評価を受けています。

また9月29日には旧知のオリバー道場を訪問練習 9月30日はアルツハイマー施設を訪問し空手演武を行う予定です。文化交流としてはアイルランドの方々との食事会・世界遺産の見学なども計画しています。

私としては個人的な交流から東北大学空手道部としての国際交流に発展していくことを希望しています。今後は東北大学空手道部と UCD 空手道部との 2 つの大学間の交流を足掛かりに、現在全日本学生空手道連盟が取り組み始めた『国際空手ミィーティング』…(現役・OB 合同 7 大学戦の国際版のイメージです。)への参加を検討していきたいと考えています。

今年5月に第1回『国際空手ミィーティング』が英国オックスフォード大学において、1泊2日で実施され、ケンブリッジ大学・ハーバード大学など英国・米国の約20大学が参加しました。来年3月には英国ケンブリッジ大学で開催される予定です。この『国際空手ミィーティング』が軌道に乗れば、これに参加することで、世界の学生との交流が可能となります。

全日本学生空手道連盟の長田理事長(大阪在住)とは連絡を取り合っていますので、『国際空手ミィーティング』の進捗状況は把握できると思います。

来年3月の英国ケンブリッジ大学で開催が正式に決まれば、東北大学空手道部 OB として宇野が参加する予定です。

東北大学空手道部としての国際交流の目的と課題

OB・OG 会を OB 会と簡略表現しています。

【目的】

- ① 現役部員・OB・OG会の活性化
- ② 国際交流に OB・現役ともに参加することで OB と学生の交流を深める。

※現在 竹田前主将・沼田現主将・佐藤副監督・宇野で毎月 ZOOM ミィーティングを実施

- ③ 現役部員の国際交流の体験を就職活動およびその後の社会人生活に役立てる。
- ④ 若手 OB の OB 会への参加促進。
- ⑤ 東北大学への留学生の空手道部への勧誘。

【課題】

- ①国際交流の継続
- ②費用の捻出。費用対効果の評価

国際空手ミーティングが軌道に乗り、これに参加する方向ならば継続性・費用面の課題は克服しやすくなると思います。

【OB 会への提案】

- ① 国際交流準備委員会(現役・OB 会 合同)
現役学生・若手 OB・40代・50代・60代 OB・OG

と世代も超えた国際交流準備委員会を作ることにより、国際交流に限らず OB 会の活性化を図る。

- ② 費用面については国際交流準備委員会を中心に東北大学空手道部 OB 会内で寄付金を募るとともに、東北大本部からの補助金獲得の可能性を探る。

※今年のアイルランド訪問は国際交流の一つのきっかけとして、さらに広い視野に立った国際交流について今回の総会で議論して頂ければと思います。

2025年5月『国際空手ミーティング』

